

～令和 6 年度～ 柏市委託相談支援事業実績報告

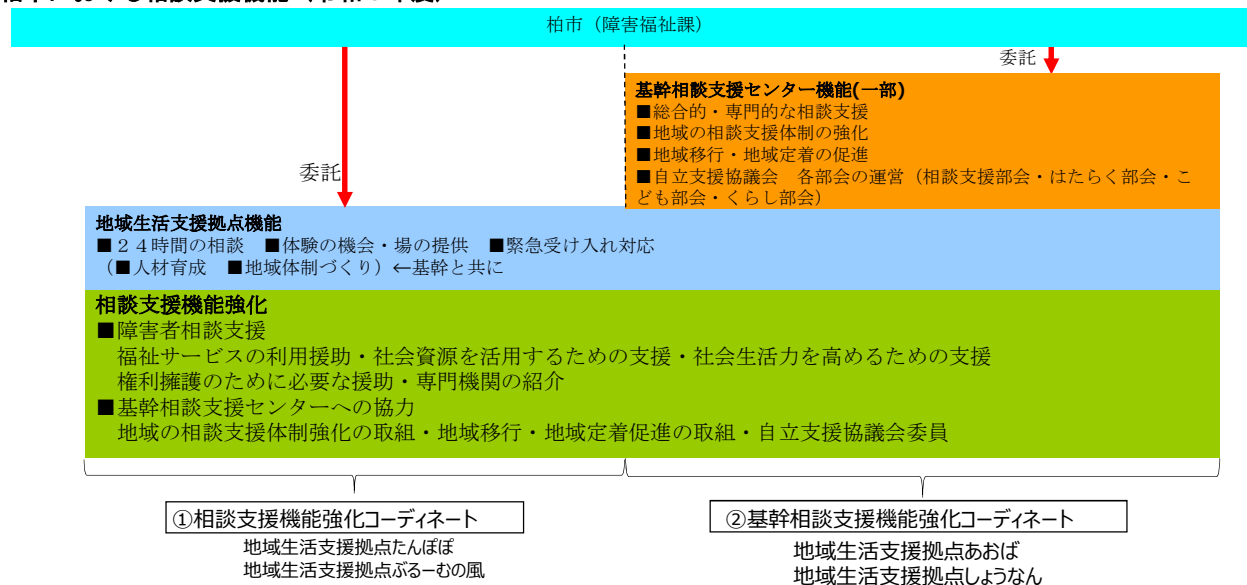
柏市障害福祉課



1

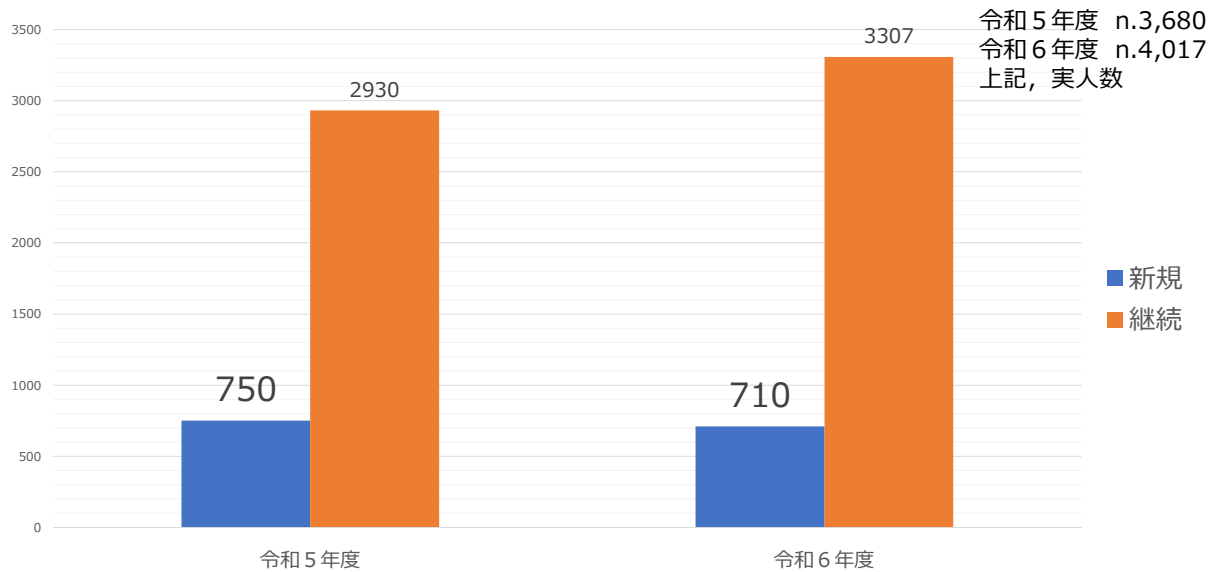
柏市における委託相談支援事業

柏市における相談支援機能（令和 6 年度）

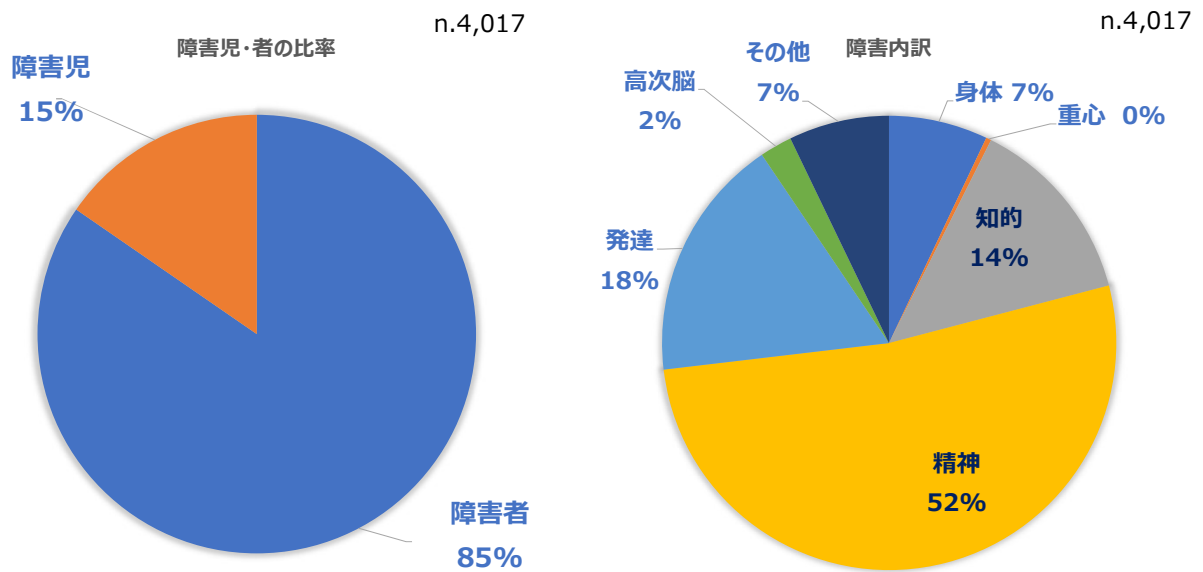


2

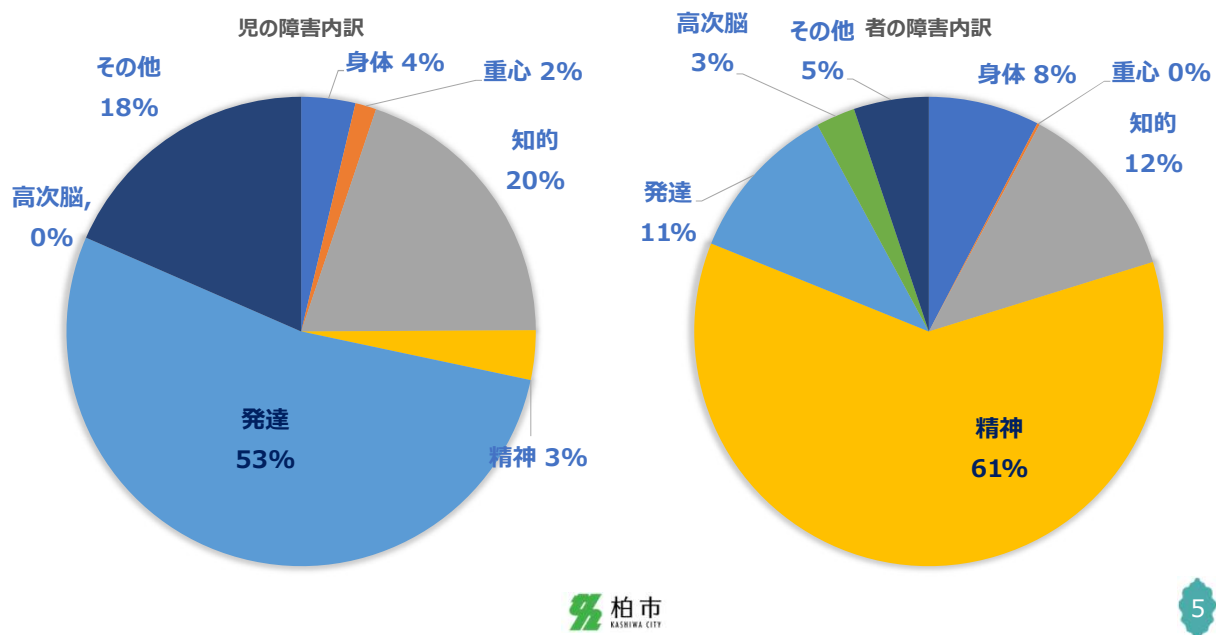
1.相談支援を利用した障害者等の新規及び継続の比較



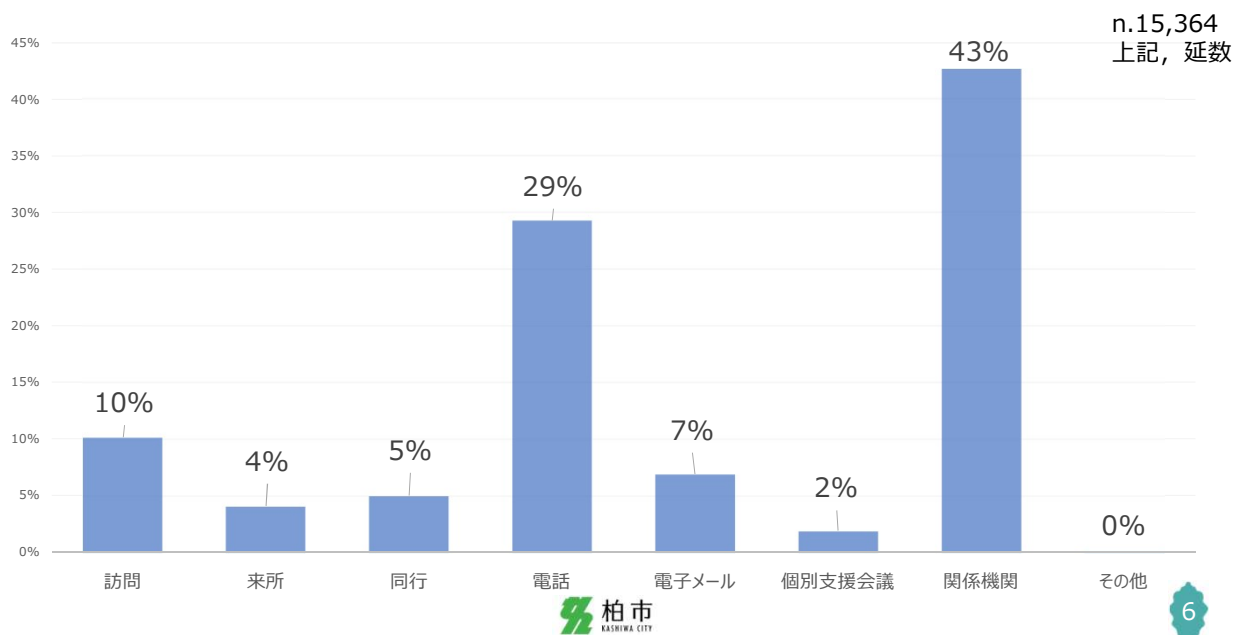
2.相談支援を利用した障害者等の数値



3.相談支援を利用した障害児・者の比較

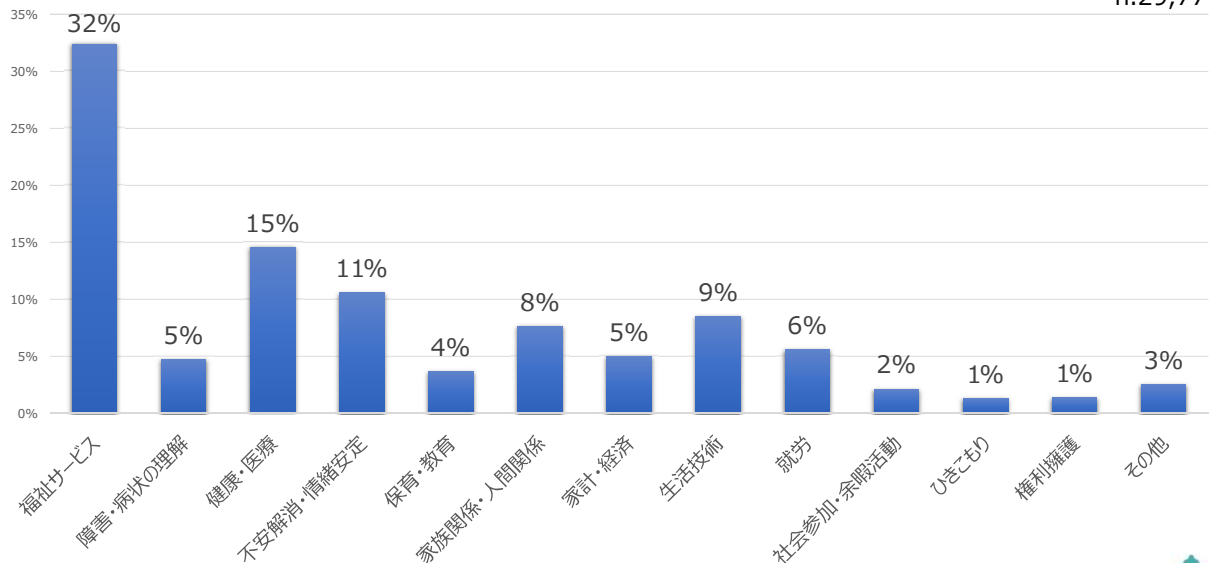


4.相談支援方法



5.相談内容（重複カウント有）

n.29,774

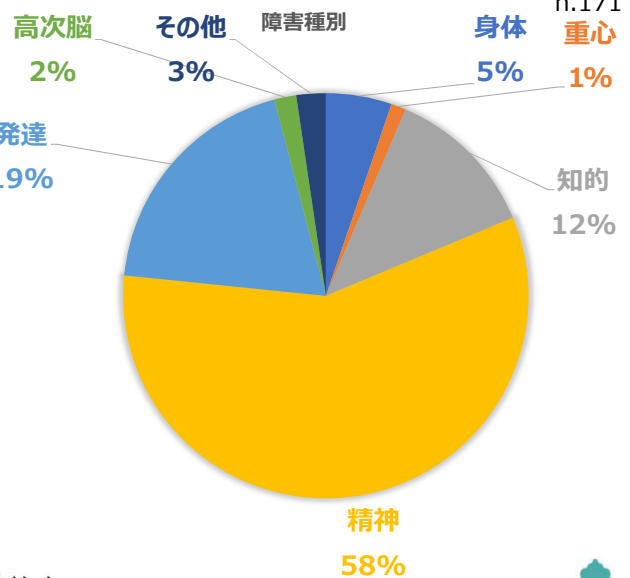
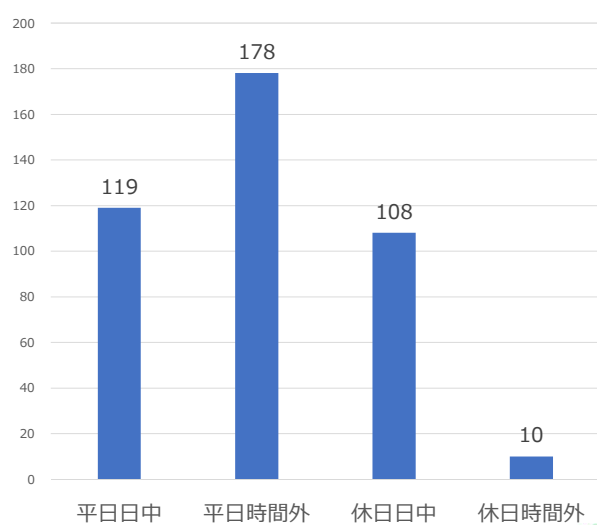


柏市 KASHIWA CITY

7

6.緊急相談対応状況（拠点のみ）

対応時間帯 n.415

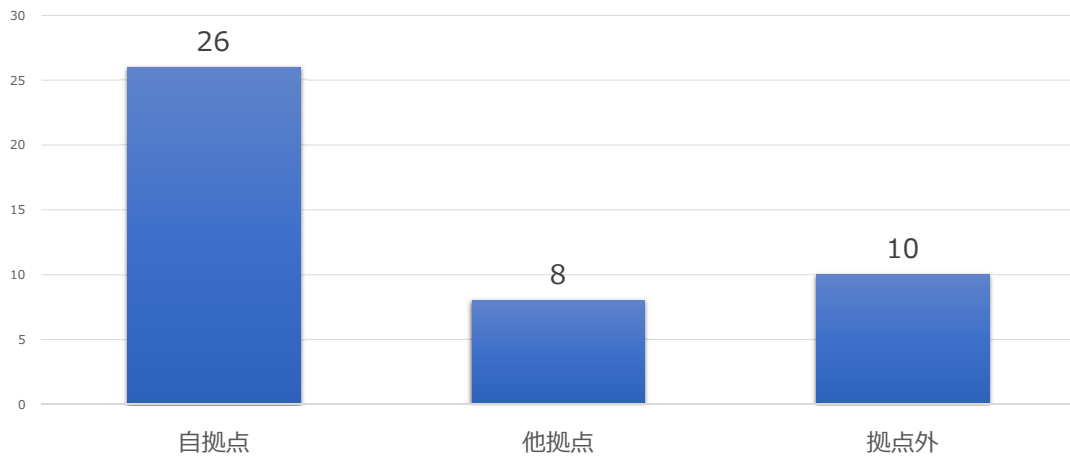


柏市 KASHIWA CITY

8

7. 緊急時短期利用コーディネート件数（拠点のみ）

n.44

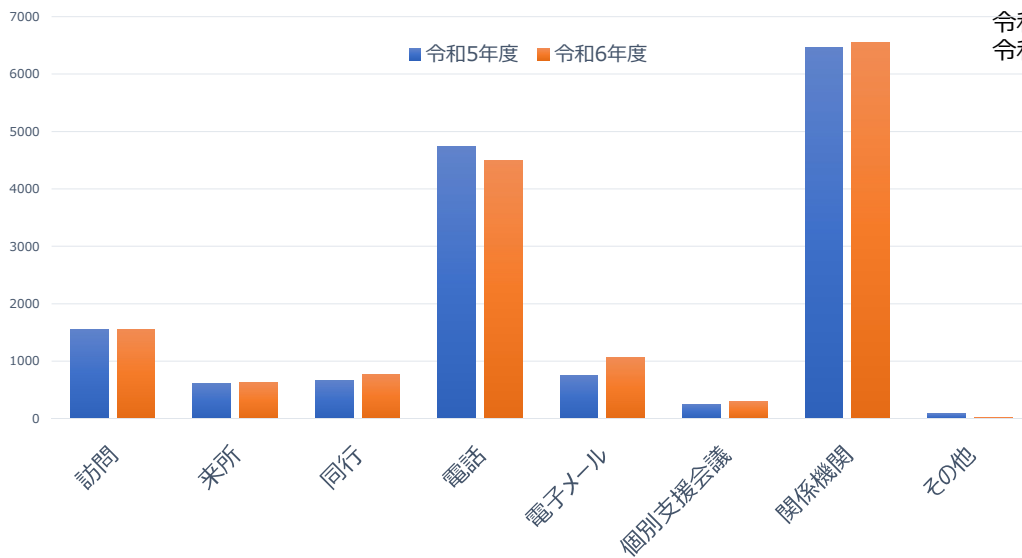


柏市
KASHIWA CITY

9

8. 支援方法の令和4年度との比較

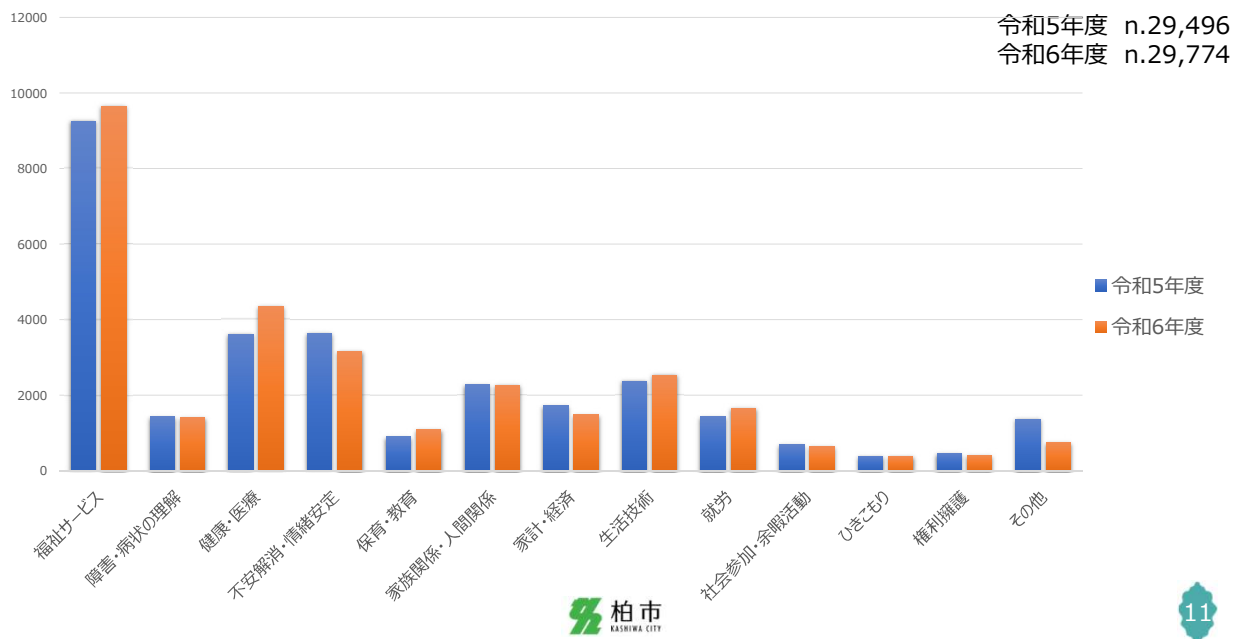
令和5年度 n.15,107
令和6年度 n.15,364



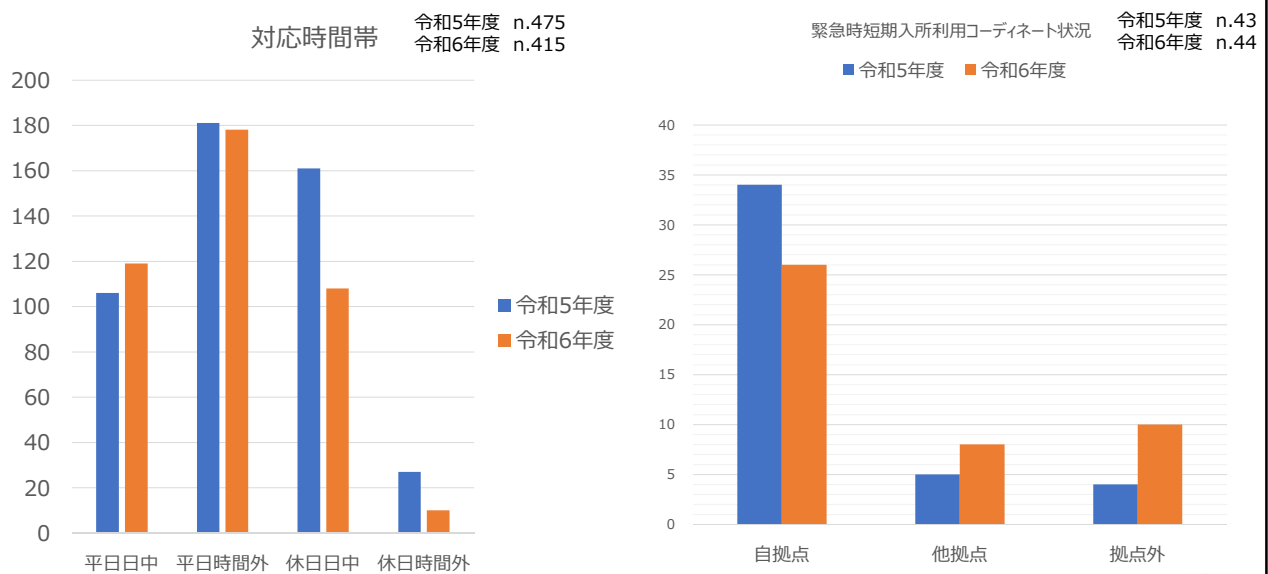
柏市
KASHIWA CITY

10

9.相談内容の令和4年度との比較



10.緊急時相談対応状況の令和4年度との比較



○委託相談支援実施報告からのまとめ

- ・ 新規相談は前年度と比べ、12%増加。
- ・ 障害の内訳では、大人では精神に障害をお持ちの方が約6割を占めているのに対し、子供では精神に障害をお持ちの方は1割も満たず、子供では発達に障害をお持ちの方が5割強という結果であった。
- ・ 相談内容では、福祉サービスに関する内容がもっと多く3割となり、次いで健康医療と不安の解消に関する内容が1割強という結果であった。
- ・ 緊急時相談対応状況では、精神に障害をお持ちの方からの相談が6割程度であった。次いで発達に障害をお持ちの方が2割であった。
- ・ 緊急時短期入所コーディネートでは、自拠点での受入が多く占めていた。各拠点での受け入れを優先的にコーディネートしていることが伺えた。
- ・ 令和5年度との比較については、件数の違いはあれど、対応内容の傾向は概ね同じ傾向が見られた。

拠点による、地域の人材育成及び地域資源ネットワーク強化への取組

		R 4 年度	R 5 年度
地区別研修	地域生活支援拠点あおば	3 回	6 回
	地域生活支援拠点たんぼぼ	4 回	6 回
	地域生活支援拠点しょうなん	1 2 回	1 5 回
	地域生活支援拠点ぶるーむの風	4 回	0 回

拠点活動内容（地区別研修及び独自の活動）

地域生活支援拠点	状況
地域生活支援拠点あおば	<ul style="list-style-type: none"> ・担当地域の相談支援事業所へのグループスーパービジョンの実施 ・複数の関係機関との研修会の開催 ・相談支援事業所訪問支援及び強度行動障害研修の開催 ・千葉県相談支援従事者研修インターバル受け入れ対応
地域生活支援拠点たんぼぼ	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の関係機関との研修会の開催 ・精神にも担当した地域包括ケアシステム構築推進事業の運営 ・ピアサポート交流会を年3回開催
地域生活支援拠点しょうなん	<ul style="list-style-type: none"> ・担当地域の相談支援事業所へのグループスーパービジョンの実施（毎月） ・複数の関係機関との研修会の開催 ・柏市内社会資源ツアーの開催
地域生活支援拠点ぶるーむの風	<ul style="list-style-type: none"> ・担当地域の相談支援事業所へのグループスーパービジョンの実施 ・障害児等医療的ケア支援連絡会の運営 ・風らっとルーム：自助グループの開催等 ・市立中学校教員向け、権利擁護・障がい理解研修